

表紙のことば

山崎佐吉（はり絵），多田野利雄（下絵）
「リハビリ室の風景」



多田野さん(左)と山崎さん(右)

この作品はお2人の患者さんが完成させた作品です。

下絵は、窓際の机で作業に打ち込む山崎さんの姿に感動された多田野さんが描きました。季節に合わせてお正月のにぎやかな絵も加えてくださいました。はり絵は山崎さんが担当しました。山崎さんは今回の入院で初めてはり絵に挑戦されたのですが、色合いをきれ

いに表すためにシャープペンシルの先で色紙を細かくちぎる等、さまざまな工夫をされていました。約3カ月間こつこつと作業に取り組む姿は、いつのまにかリハビリ室の風景の一つになっていました。（担当 OT：溝口もと）



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



上原良和「富士山からのご来光」

このたびの掲載は恥ずかしい気持ちはあるけどとても嬉しいです。

普段は大好きな石原裕次郎や果物等、いろいろ描いていますが、特に風景画は好きです。今回の作品で一番こだわったところは、太陽とその光です。

いつも絵を描くときは思った通り、感じたままにいろいろな色を使ってカラフルに表現しています。最近では自分の絵をTシャツに印刷し、みんなに着てもらったことが嬉しかったです。